

# HIV即日抗体検査相談研修のご案内

特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター（JAPAN HIV CENTER）では、現在、HIV 即日抗体検査相談（VCT）を大阪・名古屋・東京で行政との協働により実施しています。相談を通して出会った受検者は 16,000 人を超えます。（2009 年 6 月現在）

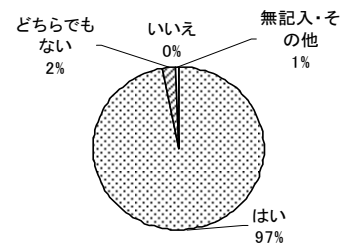
私たちはこれらの経験を通して学んだものを HIV 抗体検査相談（VCT）研修として形にしています。

迅速検査が全国的に普及してきましたが、一方で多くの検査相談担当者は、「受検者への相談対応」や「個別性への対応」を中心に不安を感じておられるようです。とりわけ、迅速検査の特徴と言える「判定保留」の説明や、今後の予防行動への働きかけ、ゲイなどセクシュアルマイノリティへの相談対応は、ワークショップやロールプレイを中心とした研修が効果的です。

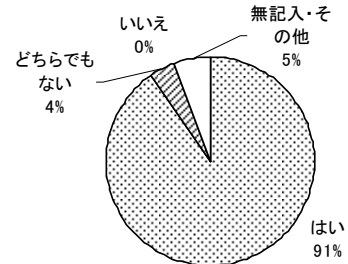
私たちは長年陽性者支援に関わってきた NPO として、なにより受検者の視点に立った検査・相談事業の普及を願っています。研修依頼等のご用命をお待ちしています。



今後セーフターセックス（コンドームの使用など）を心がけようと思ったか



「要確認検査（精密検査）の場合がある」ことについて十分な説明が受けられたか



JHC 運営サイトでの受検者アンケートより

## 研修メニューの内容

- I. HIV 抗体検査相談事業（VCT）の基本
- II. 検査前相談（プレカウンセリング）& 検査後相談（ポスト陰性カウンセリング）
- III. 要追加確認検査告知カウンセリング
- IV. 陽性告知カウンセリング

## VCTとは？

WHO（世界保健機関）や UNAIDS（国連エイズ合同計画）によって推奨され世界中で進められている HIV 抗体検査の方針。UNAIDS は VCT（Voluntary Counseling and Testing）を次のように定義しています。

「当事者がカウンセリングを通して得られた正確な情報に基づいて、HIV 抗体検査を受けるか否か自主的に判断できることを支援するプロセス」

JHC では、抗体検査相談事業を実施するにあたり、VCT を基本的な方針として採用しています。



待合室風景（大阪なんばの VCT 会場）

## H I V 即日抗体検査相談研修メニュー

種類	形式	対象例	所要時間	内容例
I. HIV 抗体検査相談 (VCT) の基本	講義形式	関連職員	90～150分	日本と世界の AIDS の状況 日本と世界の HIV 検査の状況 HIV 検査を受けることのメリット VCT の意義と流れ 受検者の心理 プレ・ポストカウンセリングの意義 迅速検査の特徴 GO と NGO との連携の意義 JHC の VCT サイト紹介
II. プレカウンセリング& ポスト陰性カウンセリング	講義とワーク	抗体検査業務 従事者	8時間	VCT の基本 (上記 I) ワーク：相談室の環境 ワーク：受検者の背景 プレカウンセリングの例 プレカウンセリングのポイント ロールプレイ ワーク：結果を待つ心理 ポストカウンセリングの例 ポストカウンセリングのポイント ロールプレイ ふりかえり
III. 要追加確認検査告知 カウンセリング	講義とワーク	抗体検査業務従事者 (上記 I ～ II 受講者)	5時間	迅速検査における「要確認※」の意味 「要確認」告知と受検者の心理 ワーク：受検者の背景 ワーク：結果を待つ心理 「要確認」カウンセリングの例 「要確認」カウンセリングのポイント ロールプレイ ふりかえり
IV. 陽性告知カウ ンセリング	講義とワーク	抗体検査業務従業者 (上記 I ～ III 受講者)	5時間	陽性告知における受検者の心理 ワーク：受検者の背景 ワーク：結果を待つ心理 陽性告知の例とポイント 陽性者の利用できる福祉制度について 栄養支援について ロールプレイ 当事者の話

※要確認・・・要追加確認検査。迅速検査 (IC 法) で判定保留となり、追加の確認検査を要すること。

- 上記メニューは標準的なものです。時間・対象・内容など、ご希望に応じオーダーメイドします。ご相談ください。
- プログラムの企画、講師手配、テキスト・研修資料の準備、当日の運営など、一括での委託ができます。
- 実施にあたり、講師謝金、交通費、テキスト代、資料代等がかかります。



## 研修に参加された人たちの声



受検者の心理を理解するためには AIDS の歴史をふりかえりスティグマを理解することは欠かせない。

◆今まで受検者に AIDS についてのマイナスイメージを押し付けていたことに気づく機会となりました。

◆これまでゲイの方も来所されているというのは頭のどこかで分かっていたが、実際の相談場面では男女間による感染予防の話をしていたと反省しました。

◆グループのディスカッション、すごく良かった。ロールプレイで他の方の対応を見て学ぶことができた。自分の話し方のクセなど、改めて見直す機会であった。

◆受検者となるワークを通じて、「本当はもっと詳しく知りたい、質問したい、不安な気持ちを知ってもらいたい」という気持ちを知ることができた。

◆以前保健所に検査結果を聞きに来られた方が、「取調室みたいですね」とおっしゃっていたのを思い出しました。部屋の環境や相談を受ける側の態度、対応の仕方が大切なのだと思いました。



ポスト陰性告知カウンセリングのロールプレイ。セクシュアリティに配慮しながら具体的な予防方法を伝える。



相談室の環境作りワーク。受検者の視点に立って、机やイスの配置、インテリアを考えていく。

◆二日間ありがとうございました。とても短く感じた研修でした。もう少し時間があればと残念です。

◆今日一日で自分の中にも無意識の偏見があることに気づきました。そして、知らないでいるということも偏見や差別につながっていたこと、そのことで苦しんでいる人がいるということを実感しました。

◆IC 法の実際を見ることができ、クライアントに説明する際に自信が持てます。

◆プレとポストのカウンセリングの不安が解消されました。何度もイメージトレーニングをして本番に望みたいと思います。

◆書物では得られない体験の素晴らしさ。今後の活動に活かします。

### ●JHC がこれまでに実施した HIV 抗体検査相談（イベント検査のみ抜粋） ※常設については次ページに掲載

実施年月	主催者	協力者	場所	受検者数
2005年 6月	神戸市保健所		センタープラザ（神戸市中区）	39名
2006年 6月	豊島区池袋保健所		池袋保健所（東京都豊島区）	31名
2007年 1月	厚生労働省（エイズ予防財団）	各地の行政	松山市（2回）、長野市、長崎市	39名
6月	厚生労働省（エイズ予防財団）	名古屋市	マナハウス会議室（名古屋市中区）	19名
11月	厚生労働省（エイズ予防財団）	渋谷区保健所	渋谷ネクサス（東京都渋谷区）	57名
2008年 5月	厚生労働省（エイズ予防財団）	みなと保健所	日本テレビ（東京都港区）	43名
12月	HIVと人権・情報センター	千代田保健所	秋葉原の公共施設（東京都千代田区）	44名
12月	渋谷区保健所		渋谷区保健所（東京都渋谷区）	48名
2009年 5月	厚生労働省（エイズ予防財団）	渋谷区保健所	渋谷ネクサス（東京都渋谷区）	67名

# JHCサンサンサイトご案内

JHCでは下記の会場においてVCTを実施しています。見学等ご希望の場合、事前にご相談ください。また、随時ボランティアも募集しています。



## 大阪・なんばサンサンサイト

日時 : 毎週日曜日午後  
場所 : chot CAST なんば  
(地下鉄「なんば」駅6番出口よりエレベータで3階へ)  
住所 : 大阪市浪速区難波中1-6-8 イチエイ総合ビル3階  
TEL : 06-6635-3332 (日曜午後のみ)  
主催 : 大阪府、大阪市

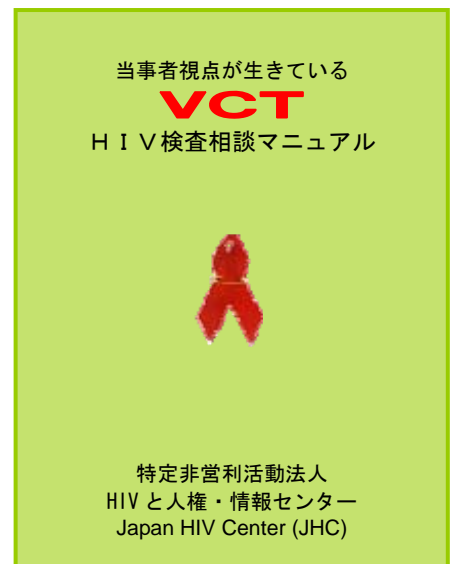
## 名古屋・栄サンサンサイト

日時 : 第2・4日曜日 予約制 (予約専用 TEL : 052-831-2289)  
場所 : 栄ナディアパーク内デザインセンタービル9階  
名古屋市青少年文化センター研修室  
(地下鉄名城線「矢場町」駅5・6番出口より徒歩5分)  
住所 : 名古屋市中区栄3丁目18-1  
主催 : 名古屋市



## 東京・すぎなみサンサンサイト

日時 : 第3土曜日 予約制 (予約専用 TEL : 03-5259-0330)  
場所 : 杉並保健所3階  
(JR中央線・地下鉄丸の内線「荻窪」駅南口より徒歩5分)  
住所 : 東京都杉並区荻窪5-20-1  
主催 : 杉並区



研修用のテキスト。VCTの基本から運営のポイントまで、利用者視点により書かれている。



### JHCについて

1988年、感染者とその仲間達によって我が国初のAIDS NGOとして大阪で設立。感染経路を区別せず、HIV/AIDSにかかわるすべての人を支援しています。あらゆる人の命と人権が尊重される共生社会をつくることを目的に、電話相談や陽性者サポート、講演やワークショップなどの予防、啓発活動、調査/研究、アドボカシーなど、幅広い活動を全国的に展開しています。

現在、関西、東京、中部に拠点をもち、啓発やVCT事業を通じ地域の行政との連携を進めています。



★研修などのご相談・お申込みは・・・

特定非営利活動法人HIVと人権・情報センター

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-2-2 吉田ビル2F

TEL : 03-5259-0622 FAX : 03-5259-0643 ML : tokyo@npo-jhc.com

